

ごあいさつ

誰もが身近地域で安心して暮らせるまちをつくるため、中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」が初めて策定されてから10年の年月が経ちました。その間も社会を取り巻く情勢は深刻化を増すばかりですが、中なかいいネ！では、地域が主体となり、めざすべきまちの姿や地域の様々な課題に対して熱心な取組が行われ、各地区の特色を生かした活動が徐々に広がってきました。

第3期計画の策定にあたっては、それぞれの地域や区役所、区社会福祉協議会などで、これまでの取組を振り返った結果、今まで以上に地域の見守り力を高めると同時に、健康の面にもスポットを当てて取り組む必要性が浮き彫りになりました。

中区のそれぞれの地域が、この計画の推進を通じて、豊かなつながりをさらに育てていけることを願います。



中なかいいネ！推進会議委員長 清水 浩一

少子高齢化が進む現在、私たちが暮らすまちの中では、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者、子育てなどの課題が生じています。また生活困窮、子どもの貧困などの新たな課題への対応や障害者への差別解消を更に進めていくことも必要とされています。

しかしながら、これらの課題の解決に向けた取組は、行政や関係機関だけでは充分とは言えません。

そこで、区民の皆さんをはじめ、行政、区社協、地域ケアプラザ、福祉保健関係団体などの地域に関わる関係者の課題解決に向けた計画的な取組として、第3期中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」を策定いたしました。

行政や関係機関・団体だけでなく、区民一人ひとりが協力し、住み慣れたまちで安心して暮らし続けていけるよう支えあっていきたいと思います。



社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会会長 金子 豊

第3期計画の策定にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。地域福祉計画は、地域福祉の推進を目的とした行政計画ですが、策定手法及び盛り込む内容が他の行政計画とは大きく異なります。計画策定は、行政だけではなく地域住民・福祉関係者・事業者の方々など多様な主体による意見交換を重ねるなかで、自らの地域の将来を、あるべき姿を描き、当面5か年で取り組む内容を盛り込みます。その内容も、行政や社協が実施することのほか住民や福祉事業者が行うことも盛り込まれます。

地域福祉推進の主役は住民の方々です。地域の生活課題や課題解決方法を住民主体で話し合い、具体的に行動に移していくことが重要です。行政は計画実現の責務を負います。地域への思いを議論し、取り組む内容を決定し、具体的に行動していく一連のプロセスは「参加と協働による地域自治」の取組です。

第3期目に入る計画ですが、もう一度地域福祉の原点に立ち返って考えることが必要です。



中区長 三上 章彦

目 次

第1章	中なかいいネ！第3期計画の策定にあたって	1
1	中なかいいネ！とは	2
2	中区をめぐる社会状況	5
第2章	中なかいいネ！第3期計画の枠組み	53
1	基本理念	54
2	計画期間	57
3	計画の構成 ～「区全域計画」と「地区別計画」	58
4	策定に係る区民参画の仕組み	59
5	関連する他の計画等との関係	64
6	地域福祉活動計画との融合	66
第3章	計画の推進	67
1	計画推進のための重点取組 ～「2本の柱」と「3つの土台づくり」	68
2	計画の進め方	84
第4章	区全域計画	89
1	区全域計画	90
☆	計画推進の柱Ⅰ 中なかいいネ！で“えん”結び	91
☆	計画推進の柱Ⅱ 中なかいいネ！で元気いっぱい！	109
2	計画の振り返りと評価	125

第5章 地区別計画	127
1 地区別計画	128
第1 北部地区	132
第1 地区中部	138
関内地区	144
埋地地区	148
寿地区	154
石川打越地区	158
第2 地区	164
第3 地区	168
第4 地区南部	174
第4 地区北部	178
本牧・根岸地区	184
第6 地区	188
新本牧地区	196
2 地区別計画の振り返り	203

第6章 「中なかいいネ！」を通じた地域自治の推進	205
--------------------------	-----

資料編	211
1 用語解説	213
2 参考条文	216
3 計画推進に関する具体的な取組・事業一覧	218
4 検討経過	230
5 中なかいいネ！推進会議 委員名簿	231
6 グループインタビューの実施概要	232
7 区民意見募集の結果概要	234